# 脱原発へ　太陽光発電の普及を

福井　節子　議員

**問　東日本大震災・福島原発事故から3ヶ月、福井原発隣接の当市でも、市民の命と財産を守るために、エネルギー政策の転換が必要です。太陽光発電設置補助の拡充、公的施設（マキノ東小体育館、幼・保育園、高島病院等）に太陽光パネル設置の推進を。**

**答**　市民環境部長

他市に先行し、優遇した制度を設けています。今後とも住宅改修支援制度との併用により推進に努めます。公的施設として、現在本庁舎に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの活用に努めています。

## 安全・安心の保育環境を

**問　災害はいつ起こるか分からず、耐震基準に満たない安曇川地域の3園の建替・改修が急がれます。進捗状況はどうか。**

**答**　子ども局長

耐震基準を満たしていない私立2園については、早期着手に向けて全面的な支援を行ってまいります。公立園は、私立園の整備計画と調整を図りながら改修について検討してまいります。

**問　アレルギー食対応の子ども達が増加する中、栄養士の配置を増やし、調理員、保育士、保護者と連携を密にして、安全でおいしい給食の提供を。**

栄養士の配置については、国の基準により配置しており、今後も栄養士の指導のもとで、保護者との連携を密にし、安全・安心な給食の提供に努めてまいります。

## 駅前駐車場料金を市民の立場で見直しを

**問　月極有料化が図られましたが、未契約区画が空いているのに駐車できないと、苦情が寄せられています。また、今津・安曇川駅の利用を減らし、北小松など市外のJR駅の利用者が増えています。これは本来の駅前公営駐車場の設置目的からもはずれ、月極料金の引き下げなど市民の立場に立った整備が必要です。有料一時止めの整備もしっかり検討を。**

未契約区画がある駅前駐車場

**答**　土木交通部長

本年度の計画は、近江今津駅前第2駐車場の一部と安曇川駅前第1駐車場を24時間の機械式管理とした一時利用駐車場に整備し、利用状況を見ながら順次整備を進めます。

# 水防計画のその後の見直しは

秋永　安次　議員

**活発な前線の影響で、5月には2回にわたり県内で大雨をもたらしました。朽木地域では記録的な雨量に達したとの報道もなされました。市において早期の水防計画の重要性が求められますが、3点について質問します。**

**問　新年度早々の防災会議はどうであったか。**

**答**　土木交通部長

防災会議は、6月1日に開催し、防災会議の経過説明、水防計画の内容、高島地域防災計画の見直し等を報告させて頂きました。

**問　水防計画の策定はどこの部署が責任をもって対応するのですか。**

**答**　水防計画策定の責任部署は、土木交通部土木課です。

**問　水防計画策定状況について。**

**答**　水防計画策定状況は、先の高島市防災会議で承認され、現在水防法第32条第2項の規定により、滋賀県と協議を行っています。

## 教育問題について

**問　QUテストという心理テストの取組み、また、つまずき診断テストの実施状況と結果及び課題について。**

**答**　主席教育次長

市内各小中学校では、QUテスト等をもとに課題の早期発見、早期対応に努めています。つまずき診断テストは、小学校4年と中学校1年で実施し、個人や学年全体の学習課題を明らかにし、学力補充や指導方法等の工夫改善に努めています。



**問　家庭における経済的・社会的に不安定な状況が、学習意欲や学力に影響していると指摘されている児童生徒の要保護、準要保護の抱えている問題を改善するための支援について。**

**答**　家庭への支援として、就学援助費や奨学金の事業を実施しています。

**問　小学校の新学習指導要領実施の現状と課題、また電子黒板等ICTの教育活動での活用事例と効果は。**

**答**　新学習指導要領の実施や電子黒板等のICTの活用等については、指導計画の作成や研修・研究を重ねて、実践の充実に努めています。

電子黒板を利用した授業

**問　中学校遠征に係る市バスの利用方法と問題点は。**

**答**　マイクロバスの運行については、希望時間の運行に努めています。

# 市内内湖の在り方について

梅村　彦一　議員

**琵琶湖は生態系や水質の保全、また潤いのある景観として大きな役割を果たす宝庫です。琵琶湖県においては、琵琶湖全域における内湖再生ビジョンを策定するための検討が行われています。そこで質問します。**

**問　高島市の内湖はいくつあり、その面積、保有者は。**

**答**　産業経済部長

市内には、10ヵ所の内湖が存在し、面積は約50ha、所有者は松ノ木内湖を除く全てが滋賀県です。

**問　整備事業を手掛けた数、および整備事業内容、事業費額は。**

**答**　整備した内湖は9ヵ所、事業内容は水質保全や修景工事です。これまでの事業費総額は、約25億円です。

**問　維持管理状況とその費用は。**

**答**　除草等は、近隣集落や各種団体に委託しており、年間維持費は273万円です。

**問　今後、内湖をどのように活用し、管理していくのですか。**

**答**　市民の憩いの場として親水性を保ちつつ、施設の保全更新を計画的に行ってまいります。

**問　市の環境基本条例の「市の責務」として第4条第2項では、市は自ら率先して環境保全に取組むとともに、市民及び事業者の取組みに対しては積極的に支援しなければならないとうたわれていますが、松ノ木内湖の取組みに対し、どのような支援をお考えでしょうか。なお、本年度「びわ湖源流の郷たかしま戦略」に基づいて策定することは承知していますが、松ノ木内湖は21年度に市が基本計画を策定済であり、実施計画に向けての市の考えは。**

**答**　松ノ木内湖の整備については「農業農村整備事業管理計画」に位置付けており、今後も事業化に向け、国・県に要望を重ねてまいります。

再生を呼びかける看板

**問　琵琶湖市町境界設定に伴う交付税から拠出する額が本年度から2、325万4千円減額されていますが、この使途の予算措置は。**

**答**　交付税は、使途が特定されない財源であるため、市民税等と同様に一般財源として予算措置をしています。